

2022年度年末手当回答 (5期連続低額回答) について!

本部は、2022年度年末手当要求として申7号(10/6)で・基準内賃金3.36ヵ月・55歳以上嘱託再雇用社員に一時金10万円・嘱託再雇用社員、減額率の廃止と社員と同様の支払い月額を掲げ、先の申6号(9/28)西九州新幹線開業祝い金(一律5万円)と併せて団体交渉を重ねて来ました。

◎ 団体交渉で会社回答は!

団体交渉(第1回11/4・第2回11/8・第3回11/18・第4回11/25・第5回11/29)で会社は、黒字基調にも関わらず足元の状況への懸念を示し、乗客は、コロナ前に戻っていない。慎重に検討を重ねている。何も示すものは無いを繰り返し回答し2回も回答を引き延ばしたあげく、支給日すらも引き延ばしました。

◎ 会社回答として!

1. 基準内賃金に1.90ヵ月 2. 嘱託再雇用社員3年以上(1.43ヵ月)3年未満(0.95ヵ月) 3. 一時金、嘱託再雇用社員3年未満(0.30ヵ月) 4. 西九州新幹線開業一時金2万円 4. 支給日 年末手当(12/13) 一時金等(12/23)が提示されました。

◎ 本部は、持ち帰り検討し、要求額から大きく離れた回答に対して申12号で再申し入れを提出しました。

◎ JR各社等の回答状況について!

・JR北海道1.7ヵ月・JR東日本2.4ヵ月(一時金2万円)・JR東海2.7ヵ月・JR西日本1.8ヵ月(一時金3万円)・JR四国1.43ヵ月・JR貨物1.62ヵ月 (*連合平均2.35ヵ月)

◎ 今後の課題として!

夏季手当支給は、1.64ヵ月でした。年末手当支給も併せても年間3.54ヵ月です。2020年入社社員は、一度も年間5ヵ月を経験していません。

政府も各企業も物価高に対して、賃上げやインフレ手当を支給する企業も多く出てきています。

私たちの生活は、もう我慢の限界です。

離職に対して真剣に考える社員も更に出てきます。

本部は、社員の生活を守るためにも引き続き交渉を重ねて行き、23春闘の闘いへと繋げていきます。